

市保連代表者会議

2009.12.2 19時から 於 京都福祉保育総合センター

○ これまでのとりくみ

- ・ 11/20 第6回プール制検討委員会（委員による保育園訪問 於 ゆりかご保育園(右京区)）。
- ・ 11/20市役所前集会／アピールパレード(京都市向け署名 中間集約)
- ・ 11/30 第7回プール制検討委員会。

○ 各係での取り組み

京保連 4 役会議 →

保育のつどい会議→ 11/30

福祉要求実行委員会会議→ 11/16

どんといけまつり会議 →

○ 今後の予定

- ・ 12/末 署名第二次集約
- ・ 年末年始あたり 保育課との懇談、要望書提出
- ・ 1/10 冬の交流会
- ・ 1/末 署名最終集約
- ・ 1/末～2/月上旬 保育課との交渉

○ 冬の交流会

- ・ 日時:2010.1/10(日)
- ・ 場所:
- ・ 内容:
 - ?時～ 「おとなも子どもも一緒に学ぼう! からだの科学」学習会
 - ?時～ 交流会

○ 京都市との懇談

○ 京都市宛要望書

○ 各園から

○ その他

○ 次回代表者会議 月 日 () 時～

2009年12月 日

京都市長 門川 大作様

京都市保育園保護者会連合協議会

会長 樋口 勝弘

連絡先 上京区竹屋町通千本東入主税町 1100-1

京都福祉保育総合センター(FAX 822-6220)

京都市の保育施策の拡充を求める要望書(案)

- 1、昨今の社会保険料の引き上げ、教育費の高騰、所得税の定率減税廃止などによって家計状況が厳しくなっている下、京都市の責任で、保育料の引き下げと減免制度を拡充してください。
- 2、子どもが安心・安全に豊かな生活ができるように、職員配置基準を引き上げてください。保育所(園)における公私間格差を解消するため、また特例保育時間帯の子どもの増加に対応した体制を作るために「保育プール制」の堅持・拡充をはかってください。
- 3、延長・特例保育に対する補助金を、現状に見合ったものにしてください。
- 4、保育所(園)にすべての子どもが入れるよう、行政区にとらわれることなく、定員の弾力化でなく、地域に保育所(園)を増やしてください。
保育環境の悪化を避けるために、これ以上の弾力化は行わず、今までの弾力化分を戻していただきたい。
- 5、就学前の療育を公的に完全に保障してください。また、自立支援法により増えた保護者の負担増を、公的に保障してください。
- 6、アナフィラキシーに限らず、アレルギーを持つ子の対応のために、更なる職員加配の推進をはじめ施策の拡充を図ってください。
- 7、認可保育所(園)と「認定子ども園」とで「保育に欠ける子ども」が受ける保育水準に格差が生まれないようにしてください。
- 8、京都市の責任で調理員などの増員配置をおこない完全給食が全園で実施できるように条件整備をしてください。
- 9、京都市との定例の懇談会を増やしてください。